

I 学力向上を図るための全体計画

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、自他の生命を尊び、知・徳・体の調和のとれた明朗で健康な人間の育成を目指して、次の目標を設定する。

- ◎人権尊重の精神と態度を養う。
 - ◎自ら学ぶ意欲や態度を育て、豊かな情操を養う。
 - ◎健康でたくましい心身を育て、自律的な生活態度を養う。
- くめざす児童像（具体目標：かいどりの子）>

- 「か」：◎考える子 進んで学び、深く考え、行動できる子
 「い」：○思いやりのある子 互いに理解し合い、協力し合って仲良くする子
 「ど」：○努力する子 最後までねばり強くやりとげる子
 「り」：○体力のある子 進んで体力向上を図り、健康や安全に気をつける子

2 学校経営方針（学力向上に関わる要点）

- ① 指導計画・評価計画の実践と授業改善を図る。
- ② 校内研究を通して指導力を向上させ、各教科等における問題解決的な学習を進め、基礎的・基本的な事項を定着させ、「考える力・表現する力」を育む。(ESD の視点に立った学習指導の推進)
- ③ 学習過程、学習形態、学習活動を工夫した授業の推進
「授業のユニバーサルデザイン」を踏まえた授業を進める。
- ④ 基本的な生活習慣、学習規律を身につけさせる。
- ⑤ 読書活動をより積極的に推進し、さまざまな文章を読む習慣を形成すると共に、言語力の向上を図る。(ESD の視点に立った学習指導の推進)
- ⑥ 個に応じた指導を実践する。
 - ・つまづいている児童への適切なサポート
 - ・少人数授業の充実、複数の目できめの細かい指導の推進
 - ・ピアティーチャーと連携した個別指導
- ⑦ 栽培活動・環境学習を問題解決的な学習として進め、「課題を見つけ、自ら学び・考え・判断し、よりよく問題を解決する資質・能力」や協同的に取り組む態度を育てる。(ESD の視点に立った環境教育)
- ⑧ 教科との関連を図った生活・総合学習の実践 (ESD の視点に立った学習指導の推進)
- ⑨ 地域の人・自然・文化等を活用して体験的な学習を充実し、学習への興味・関心・意欲を高めるとともに、基礎学力の充実を図る。
- ⑩ 教科、道徳、総合的な学習の時間等で、オリンピック・パラリンピック学習を進める。
- ⑪ 外国語活動を通してコミュニケーションの楽しさや言葉の面白さを体験させ、コミュニケーション能力の向上を図る。
- ⑫ 楽しい効果的な授業を創造するための ICT 活用教育の推進
- ⑬ 通常の学級とみどり学級の児童が、共に認め合い、共に学び合う交流・共同学習を進める。
- ⑭ 進んで体を動かし、体力を高める子を育成する。
(オリンピック・パラリンピック教育推進校の取り組み)
- ⑮ 「補習授業」「家庭学習」を充実し、基礎的・基本的な事項の定着や学習・読書習慣を身につけさせる。
- ⑯ 意図的・計画的に授業を進める。

<平成 29 年度校内研究>

研究主題を『自ら学び、自分の考えを深め、発信できる児童の育成～各教科等の特性を生かした主体的対話的で深い学びの実現～』とし、問題解決的で対話的な学習活動や授業づくりを、講師を招聘した研究授業を年間 3 回、O J T 研修における研究授業を全教員が行うなどしながら進め、研究成果を日々の授業に生かしていく。